



●PROFILE 花房 火月 (はなふさ・ひづき)
 2006年東京大学医学部卒業。癌研究会有明病院、東京大学医学部附属病院皮膚科・皮膚光線レーザー科(助教)勤務等を経て、2011年7月三鷹はなふさ皮膚科開設。2014年6月新座はなふさ皮膚科開設。2015年6月The Japan Times紙のアジアの次世代を担うリーダー100人(100Next-Era Leaders IN ASIA2015-2016)に選出される。2015年7月～国分寺駅前はなふさ皮膚科開設。2016年5月～久我山はなふさ皮膚科開設。
 ■著書：『だから差がつく! やつぱり美人は、かかりつけの美容皮膚科を持っていた!』(雷鳥社)



病院内の皮膚科に移動してからも、手術を要する重症・難治性の患者さんを診ていましたので、体になるべく負担をかけない手

悪性皮膚腫瘍(がん)も早期発見
——病理診断の件はどのように解決を?
花房 病理診断の困難さをカバーするには、腫瘍を取る前の事前診断力を最高峰にまで高めなければ大義名分が立たないと考え、悪性腫瘍を早期発見する技術の研究・努力を重ねました。専用の顕微鏡を何種類か使って腫瘍をパターン認識で判断します。悪性腫瘍の多い欧米での研究が盛んで、日本ではまだまだ活用さ

一般の皮膚疾患から、重症・難治性の皮膚疾患、さらには美容外科まで皮膚科問題を抱えるありとあらゆる人が訪れる皮膚科がある。重症・難治性の皮膚疾患の患者にとっては最後にたどりつく駆け込み寺として、あるいは、シミやたるみ取りの相談を気軽に出来るかかりつけ医院として、着実に歩みを進めているのが東京都三鷹市に本部を置く『医療法人社

団 清優会』である。理事長の花房火月医師に、皮膚疾患を中心に話を伺った。
手術痕の小さい低侵襲手術が評判
——手術痕が小さい低侵襲手術で有名ですが、そのきっかけは何でしょうか?
花房 有明の癌研病院で医師としてスタートしたことが全ての始まりです。そこで様々な手術の臨床に立ち会い、東大

技を求めて研究を重ねました。きっかけは粉瘤(アテローム)の手術に、くりぬき法(低侵襲手術を用いたこと)です。腫瘍を崩して取り出すのでは病理診断(悪性腫瘍の見極め)が困難になるケースが生じ、手術の本流からはそれるという考えもありましたが、低侵襲な(痛みも手術痕も少ない)手術をブログで公開したところ、全国から患者さんが見えになり、最盛期には年間4千件以上(※)の手術を行うことになったのです。

注目の名医 52
 ●スペシャルインタビュー
Special Interview

17医療ルネサンス

医療法人社団 清優会

はなふさ皮膚科 三鷹院

理事長

花房 火月

医師

東京／三鷹・国分寺・久我山 埼玉／新座 ●皮膚医療のプロフェッショナル集団

皮膚腫瘍における低侵襲手術の先駆者
 重症患者や、再発率が高いとされる難治性の皮膚疾患もいとわず真摯に治療

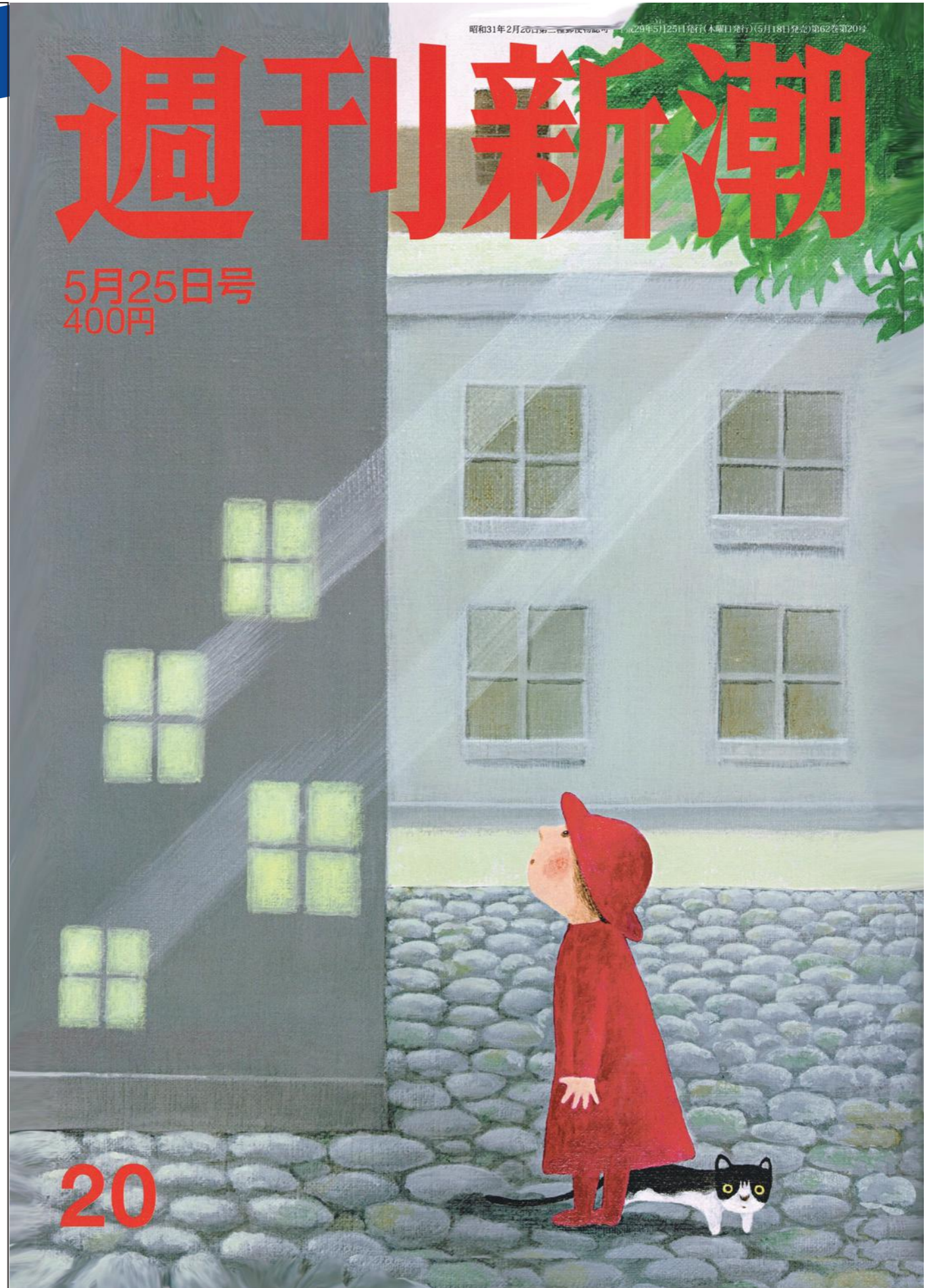
れていませんが、データは年々蓄積されており、世界標準の診断が下せれます。
重症・難治性皮膚疾患(良性)を扱う
——現在はスタッフも増えていますね。
花房 先生の主な役割を教えてください。
 ケロイドや膿皮症・毛巣洞など再発率の極めて高い難治性の皮膚疾患は、敢えて挑戦する先生はほとんどいないと思われ、治療法の改良や研究を進めて常に結果の出る治療を提供していきたいと考えております。また、自分の培った技術は、より多くの患者さんのために提供していきたいと思っておりますので、当グループの医院が全て同水準で対処できるように、後進の指導にも時間を割いています。皮膚外科の問題から、水虫・シミ・たるみなどのお悩みまで、気になるところのある方は、ぜひ一度、気楽にお越しいただければと思います。

医療法人社団 清優会
はなふさ皮膚科 三鷹院
<http://mitakahifu.com/>

診療◆9:00～12:00 / 15:00～18:30
 休診日◆土曜(～13:00)午後、木・日・祝祭日
 所在地◆東京都三鷹市上連雀4-3-5 上連雀シティハイム2F **アクセス**◆JR 三鷹駅南口徒歩10分、「三鷹第三小学校入口」バス停前。
 電話◆0422-72-8650
国分寺院 東京都国分寺市本町 4-1-9 電話 042-320-7722
久我山院 東京都杉並区久我山 4-1-9 久我山ビルディング2階 電話 03-5336-0770
新座院 埼玉県新座市野火止 5-10-26 電話 048-483-8723

はなふさ皮膚科

※2014年5月～2015年4月で4,462件。



週刊新潮

5月25日号
 400円

20